

事務事業評価表 平成25年度

政策 計画実現に向けて
 施策 効率的な行財政運営の推進
 基本事業 情報セキュリティの確保とネットワーク基盤の安定稼働

事業名 **ネットワーク網整備 保守事業**

[0362]

部名	総務部	事業開始年度	平成13年度	実施計画事業認定	非対象
課名	情報推進課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) ・公共施設 全庁ネットワークシステム
意図	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) ・市の職員の配置されている公共施設をネットワーク化する。
手段	(事務事業の内容、やり方、手段) ・ネットワーク障害時に適切な対応をとる。

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度当初
対象指標1	接続箇所数	カ所	75	64	64	64
対象指標2						
活動指標1	ネットワーク保守点検回数	回	12	12	12	12
活動指標2						
成果指標1	事故によるシステムダウン時間数	時間	0	0	0	0
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	101,689	55,612	65,321	70,230
正職員人件費 (B)		千円	10,800	10,755	8,016	10,070
総事業費 (A) + (B)		千円	112,489	66,367	73,337	80,300

費用内訳	
24年度	報酬 1,729千円、需用費 4,741千円、役務費 8,731千円、委託料 19,211千円、使用料及び賃借料 830千円、工事請負費 1,007千円、備品購入費 29,072千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	ネットワークが市の業務処理の重要な基盤となったため、ネットワークの安定化の重要性が今後増大する。
--------	--	-------------	--

24年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業
 妥当である
 妥当性が低い

理由・
 根拠は？

住民情報システム運用、庁内ネットワークによる情報共有等、必要不可欠なインフラである。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい
 貢献度ふつう
 貢献度小さい
 基礎的事務事業

理由・
 根拠は？

庁内ネットワークの運用は、業務処理及び情報共有等大きく寄与している。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？

あがっている
 どちらかといえばあがっている
 あがらない

理由・
 根拠は？

市の職員が配置されている公共施設については、ネットワーク整備がほぼ完了し、業務の効率化に繋がっている。また、定期的なメンテナンスの実施及び回線の冗長化を確立し、障害に強いネットワークを構築していることから、ネットワーク障害は殆ど起きていない。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大
 成果向上余地 中
 成果向上余地 小・なし

理由・
 根拠は？

情報推進課職員のネットワーク障害対応能力を高める必要がある。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある
 ない

理由・
 根拠は？

情報通信技術の進展に伴い、サーバー等機器更新時に高性能サーバーへの一元化（統合）を行い、導入費用・保守費用を削減することは可能である。